

平成29年度

# 滋賀医科大学 看護師特定行為研修

## 研修生募集要項



滋賀医科大学

## 平成29年度 看護師特定行為研修 概要

### 1. 滋賀医科大学の理念及び使命

(理念) 滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある医学・看護学の教育・研究により、信頼される医療人を育成すること、さらに、世界に情報を発信する研究者を養成することにより、人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献する。

(使命) 幅広い教養と医学及び看護学のそれぞれの領域に関する高い専門的知識及び技能を授けるとともに、確固たる倫理観を備え、有能にして旺盛な探究心を有する人材を育成することを目的とし、もって医学及び看護学の進歩、発展に寄与し、併せて社会の福祉に貢献することを使命とする。

### 2. 沿革

わが国は、平成38年(2025年)には65歳以上の高齢者が4人に1人となり、超高齢社会を迎えます。より一層、高まる医療ニーズに対応し、今後の医療を支えていくためには、高度な臨床実践能力を有する看護職を計画的に育成していくことが求められています。

今般、「保健師助産師看護師法」の一部改正によって、平成27年10月より「特定行為研修」を修了した看護師が医師による手順書に従い特定行為を行うことが可能となりました。

本学では、今後の地域医療を支えていく特定行為ができる看護師を育成するために、特定行為研修に取り組むこととなりました。平成28年2月10日付で滋賀医科大学は、厚生労働省が指定する研修機関となりました。

### 3. 滋賀医科大学における特定行為研修の教育理念

本学は、県下唯一の医科大学として、高度実践的看護臨床教育を通して地域医療の質向上に貢献することを目指します。また、特定行為を行う看護師としての社会的責任と役割を自覚し、新たな臨床看護の発展に寄与することのできる看護師を育成します。

#### 【教育目標】

- 1) 高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を、包括的にできる能力(知識、技術、態度)を養う。
- 2) 特定行為を適切なタイミングに、倫理的、かつ安全に行える能力(知識、技術、態度)を養う。
- 3) チーム医療のアウトカムが最大となるよう、多職種の専門性を尊重し、協働による問題解決できる能力(知識、技術、態度)を養う。
- 4) 医学的視点と看護学的視点を融合した新たな看護展開ができ、標準化する能力を養う。

### 4. 研修の特色

各学会認定の指導医・専門医資格などを有する医師と特定看護師・専門看護師・認定看護師による講義、演習、実習を行います。より高度な知識や技術が習得できるよう、本学の医学部教育と融合して、より高度な実践を展開できる新しい看護師教育に取り組んでいます。例えば、滋賀医科大学内外の教員による座学をベースに e-ラーニングも取り入れています。さらに解剖見学実習や滋賀医科大学模擬患者の会の協力による医療面接や医学教育・高度救急処置シミュレーターを使用した実践さながらの実習を行い、医科大学として特徴のある看護師特定行為研修を実施しています。また、特定行為を実践するための基盤づくりや特定行為の指導者として必要な知識・技術・態度を学びます。

5. 開講する特定行為区分

	特定行為区分	特定行為
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
4	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
5	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
6	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
7	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
8	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
		膀胱ろうカテーテルの交換
9	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の輸液

緑：平成28年度開講

6. 研修内容と時間数

共通科目	時間数（時間）
臨床病態生理学	4 5
臨床推論	4 5
フィジカルアセスメント	4 5
臨床薬理学	5 1
疾病・臨床病態概論	6 6
医療安全学	3 0
特定行為実践	4 6. 5
区分別科目	時間数（時間）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 4
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	6 3
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	2 2. 5
創傷管理関連	7 2

創部ドレーン管理関連	15
動脈血液ガス分析関連	33
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	37.5
ろう孔管理関連	48
循環動態に係る薬剤投与関連	60

1コマ=90分授業

\*講義（共通科目：一部スクーリング、区分別科目：スクーリングのみ）及び演習、実習（スクーリングのみ）を行います。

\*e-learningは、「全日病SQUEeラーニング看護師特定行為研修（以下、全日病SQUEeラーニング）」および本学で作成したe-learning教材を使用します。（全日病SQUEeラーニングは学内外での閲覧を可能とするが、本学作成のe-learning教材（Web class）については、学内閲覧とします。

## 7. 受講コース・定員

受講モデル	共通科目 時間数	区分別科目 時間数			総時間	定員
ベーシックコース	328.5	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (37.5)	37.5	366	合計 16名 程度
麻酔・ 救急・集中 治療領域 コース	328.5	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (37.5)	147	475.5	
		必修	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 (24)			
		必修	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 (63)			
		必修	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 (22.5)			
		選択	動脈血液ガス分析関連 (33)	33	必修とで 508.5	
			循環動態に係る薬剤投与関連 (60)	60	必修とで 535.5	
創傷領域 コース	328.5	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (37.5)	124.5	453	
		必修	創傷管理関連 (72)			
		必修	創部ドレーン管理関連 (15)			
		選択	ろう孔管理関連 (48)	48	必修とで 501	
在宅領域 コース	328.5	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (37.5)	37.5	366	
		選択	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 (22.5)	22.5	必修とで 388.5	
			創部ドレーン管理関連 (15)	15	必修とで 381	
			創傷管理関連 (72)	72	必修とで 438	
			ろう孔管理関連 (48)	48	必修とで 414	

\*各コースの定員については、最大16名程度内において調整します。

\*既に履修した共通科目及び区分別科目については、それに関連する科目の受講を免除します。

## 8. 研修期間

平成29年5月8日（月）～平成30年4月27日（金） 1年間

前期：平成29年5月8日～平成29年10月31日

後期：平成29年11月1日～平成30年4月27日

（講義時間：平日の8時50分～17時50分）

## 9. 修了要件

修了要件は、共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、実習などの観察評価などの科目毎の合格を条件とします。さらに、修了認定は、関係指導者と特定行為研修推進室で審議の上、特定行為研修管理委員会で行います。

## 10. 応募資格

- 1) 保健師、助産師及び看護師のいずれかの免許を有すること。
- 2) 保健師、助産師及び看護師の資格取得後、通算5年以上の実務経験を有すること。  
そのうち通算3年以上は関連する領域の実務経験を有することが望ましい。
- 3) 原則、所属する機関の施設長及び所属長の推薦を有すること。
- 4) 学業優先で受講可能であること。
- 5) 今後、特定行為を行い、看護の発展と社会貢献に意欲があること。
- 6) 原則、所属施設での臨地実習を行うことができること。

\*応募資格に満たない場合（自施設で臨地実習が困難な場合等）や不明な点があれば、特定行為研修推進室までご相談ください。

## 11. 出願手続き

~~平成29年1月4日（水）～2月2日（木）~~

~~2次募集~~

~~平成29年2月3日（金）～2月27日（月）~~

3次募集

平成29年3月17日（金）～4月10日（月）

## 12. 出願提出書類

- 1) 志願書
- 2) 受講希望
- 3) 履歴書
- 4) 志願理由書
- 5) 推薦書（所属がない場合は自薦可）
- 6) 受講同意書

- 7) 自施設情報
- 8) 連絡先
- 9) 看護師免許証の写し 1枚
- 10) 専門看護師、認定看護師などの認定書、看護師特定行為研修修了書、大学院などの学位記の写しなど証明となるもの 1枚
- 11) 特定行為研修受講審査料 10,000円

\*受講審査料 振り込み先： 銀行名 滋賀銀行 瀬田駅前支店  
 口座名義 国立大学法人 滋賀医科大学  
 口座番号 普通 0146970

\* 提出された出願書類、受講審査料は返却いたしません。

### 1.3. 臨地実習の場所について

看護師特定行為研修では患者で行う実習（臨地実習）を行います。臨地実習は、原則、研修生の所属施設で行います。それには滋賀医科大学特定行為研修指定研修機関の協力施設として厚生労働省へ申請が必要となります。応募資格「6）所属施設での臨地実習を行うことができること」に満たない場合は相談に応じます。

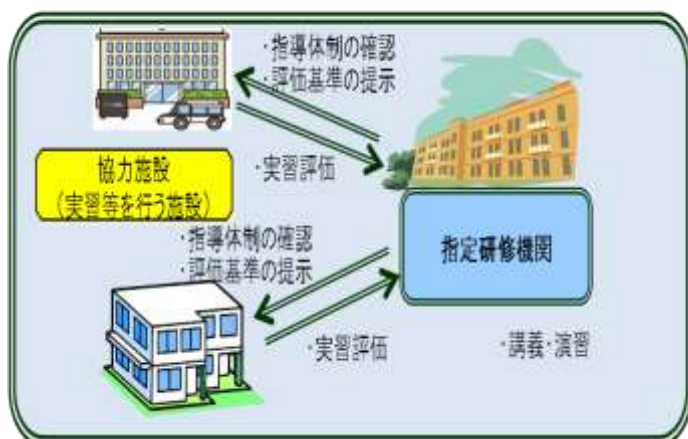
相談・お問い合わせ：滋賀医科大学医学部附属病院 特定行為研修推進室 Tel:077-548-3573

協力施設となるには、

- 1) 所属施設の医療安全体制、指導者\*を確保できること。
- 2) 本学に出願提出書類が到着後、1) や実習症例数の状況確認のため、必要時に特定行為研修推進室より連絡を行う。
- 3) 合格通知後、特定行為研修推進室より協力施設申請手続きについて案内する。

\*指導者とは、医師の指導者は、臨床研修指導医と同等以上の経験を有すること。看護師の指導者は、特定行為研修を修了した看護師やこれに準ずる者として専門看護師、認定看護師及び大学等での教授経験を有する看護師など。

#### <指定研修機関以外で一部を講義、演習又は実習を実施する場合>



出典：指定研修機関の指定の申請に係る手続き等について  
 厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室

14. 出願書類提出方法

郵送のみ。封筒に「特定行為研修 志願書在中」と「朱書き」で明記し、「簡易書留」にて下記まで郵送して下さい。

15. 出願書類送付先

	〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院 特定行為研修推進室 Tel 077-548-3573
--	--

16. 選抜方法、日時、場所

選抜方法：書類審査および面接

日時：~~平成29年2月6日(月) 13時集合(13時30分開始)~~

~~平成29年3月6日(月) 13時集合(13時30分開始)~~

平成29年4月17日(月) 13時集合(13時30分開始)

滋賀医科大学マルチメディアセンター会議室

サイバーカンファレンスルーム1 に集合

17. 合否発表

~~平成29年2月13日(月)~~

~~平成29年3月13日(月)~~

~~平成29年4月24日(月)~~

平成29年4月19日(水)

合否の通知は、ホームページでお知らせするとともに、本人宛簡易書留にて郵送します。  
電話、FAX、メールでのお問い合わせには対応しません。

18. 受講手続き

受講にあたり必要な書類は、合格通知書と一緒に送付します。

19. 研修費用

別紙をご覧ください。

\*受講料 振り込み先：銀行名 滋賀銀行 瀬田駅前支店  
口座名義 国立大学法人 滋賀医科大学  
口座番号 普通 083664

\*分割払い可

\*上記の他、書籍などが別途必要となります。

\*研修期間中において任意保険への加入を必須とします。

## 20. 本件に関するお問い合わせ

連絡先	<p>〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院 特定行為研修推進室 担当者：中井 智子（看護師長）           廣田 智子（事務担当）           若井 大輔（事務担当）</p> <p>Tel 077-548-3573 e-mail : tokutei@belle.shiga-med.ac.jp</p>
-----	---



## 別紙

## 看護師特定行為研修 受講料内訳

受講 モデル	共通科目		区分別科目	時間数			区分別科目受講料 ②金額	受講料 計 ①+② ( ③ )	合計 (③) × 1.08	参考：区分別科目のうち、所属施設等で実習を行う場合、当該施設に対する実習時間相当の実習委託料配分額 時間×単価×1.08	備考	
	時間数	①金額		時間数 (A)	左の内訳							
					本院で行う 時間数	臨地実習 (研修生の所属施設 で行う時間数)						
ベーシック コース	327	500,000円	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (39)	39	22.5	16.5	60,000円	560,000円	604,800円	23,760円	
麻酔・救急 ・集中治療 領域コース	327	500,000円	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (39)	145.5	93	52.5	222,000円	722,000円	779,760円	75,600円	
				呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連 (22.5)								
				呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連 (63)								
				呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連 (21)								
			選択	動脈血液ガス分析関連 (31.5)	31.5	22.5	9	48,000円		51,840円	12,960円	
			選択	循環動態に係る薬剤投与関連 (60)	60	33	27	91,000円		98,280円	38,880円	
創傷 領域コース	327	500,000円	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (39)	126	87	39	193,000円	693,000円	748,440円	56,160円	
				創傷管理関連 (72)								
			選択	創部ドレーン管理関連 (15)								
			選択	ろう孔管理関連 (48)	48	28.5	19.5	73,000円		78,840円	28,080円	
在宅 領域コース	327	500,000円	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (39)	39	22.5	16.5	60,000円	560,000円	604,800円	23,760円	
				呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連 (21)								
				創部ドレーン管理関連 (15)								
				創傷管理関連 (72)								
			選択	ろう孔管理関連 (48)	48	28.5	19.5	73,000円		78,840円	28,080円	